

『ジェネリック医薬品』

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



外来での会話。「先生、この前ハガキが来て、最近テレビでよくやってる、じえ、じえ・・・」「じえじえじえ!?!」「いや、そうじゃなくて、今飲んでいる薬をじえ・・・なんとかに変えると薬代が安くなるって通知が来てるんですが、、、」「あー、ジェネリック医薬品ですね」

医療用医薬品には、新しく開発・販売される「先発医薬品（新薬）」と、先発医薬品の特許が切れた後に他の製薬会社が同じ有効成分で製造・販売される「後発医薬品」があり、後者を「ジェネリック（一般的な）医薬品」とも言います。先発医薬品には、研究開発に費やされる莫大な投資費用が、コストとして薬の値段に反映されています。これに比べてジェネリック医薬品の場合、開発コストを抑えられるため、薬の値段も先発医薬品と比べて3割～5割程度安くすることができます。慢性的な病気によって薬を長期間服用する場合などは、ジェネリック医薬品の使用で、薬代の大幅な削減につながります。さらに、薬代の削減によって医療保険の支払い額も抑えることで、私たちの保険料や税金の負担減にもなります。そのため厚生労働省もジェネリック医薬品の使用を推奨しています。

ジェネリック医薬品を使用するかどうかは、基本的には患者さんの意思に委ねられており、医師からジェネリック医薬品への変更不可の指示が処方せんに記載されていないければ、調剤薬局との相談で自由に変更することができます。ジェネリック医薬品の成分は先発医薬品と同じもので、有効性が証明されたものが承認されており、変更しても問題ありませんが、含まれる添加剤が違ふこともあり、ごくまれにですが、ジェネリック医薬品に変更することで体調に影響がでることもあります。かかりつけの医師や薬剤師さんに相談されて下さい。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000